

富山県「結婚等に関する県民意識調査」個別ヒアリング

- 1 趣旨
郵送によるアンケート調査に加え、結婚等についての意識を掘り下げて把握するもの
- 2 調査方法
グループインタビュー（6グループ）及び個別面談
グループインタビューは、アンケート回答者の中から既婚男性、既婚女性、未婚男性、未婚女性ごとに実施
- 3 調査対象
富山県在住の20代、30代の男女 計35名
- 4 調査実施日
平成24年1月17日(火)、1月22日(日)、2月18日(土)、2月19日(日)

5 結果

(1) 結婚の意識

既婚・未婚、性別を問わず、理想は「早ければ20代後半、遅くとも30代のうちに結婚すること」である。

未婚の男女ともに、「プランを立ててガツガツしたくない」「まだ遊びたい」「結婚してお金の苦勞をしたくない」という意識が強く、30代での結婚を望む反面、ライフプランを意識した婚活への行動が伴っていないのが実態のようである。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・彼女が30歳までに一人目を産んだら楽だと潜在意識にあった。 ・漠然と結婚は30歳ぐらいと思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚を前提で紹介された人と結婚した。 ・25歳ぐらいまでに結婚できたらと思っていた。子どもが欲しかった。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚したら持ち家がよい。 ・27～28歳で結婚したい。 ・一緒に遊ぶ男友達がまだ独身のため、何とかかなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30歳までに結婚して子どもが欲しい。 ・子どもを産んでもお金には困りたくない。 ・30歳までは自分の夢の実現が先。 ・自分の遊びに時間を費やしたい。趣味の方が楽しい。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・30代前半で結婚したい。世間体もある ・35歳位までに結婚したい。 ・結婚を焦る気分になれない。 ・子どもは苦手なのであまり欲しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実家の近くにいたい。 ・年齢的に行き遅れ。出産を考えると結婚したい。 ・婚活はしたいが、ガツガツした感じは嫌。自然に出会いたい。

(2) 結婚相手に求める条件

男性は性格的要素を中心に、女性は経済的要素のほか多くの性格的要素をあげ、男性に比べ条件が厳しい。

長時間労働の男性は女性に仕事への理解を求める一方、未婚女性の中には、結婚相手として帰宅の遅い男性を望まない人がみられた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・束縛されるのが嫌い。彼女(妻)は干渉しすぎないところがあった。 ・正社員で安定したところで働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規の雇用。 ・資格を持っている。 ・自分より収入が上。 ・学歴も大事。大卒。 ・金銭感覚が合う。 ・家族を一番に考えてくれること。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・料理や家事をしてくれること。 ・何でもいいので働いて欲しい。社会性がなくなるし老け込みそうだから。 ・年齢は同年代から5歳上くらい。 ・将来家を建てることを考えたら、富山出身の方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的なことが1番。非正規等は嫌。 ・手に職はあって欲しい。 ・金銭感覚が合う人。 ・家族関係がうまくいくところがいい。 ・一緒にいてストレスを感じないこと。 ・年下は対象外。年上10歳位まで。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・自営業なので、束縛されると仕事ができない。仕事を応援して欲しい。 ・仕事への理解は大事。研究職なので、平日の帰宅は23時過ぎ。土日1回は職場に顔を出す。 ・仕事でもいいしサークルでもいいので外に出て欲しい。 ・自分を引っ張って行って欲しい。 ・気の付く人。手のひらで転がしてくれると楽でいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員で長く働いている人がいい。 ・収入が安定していて欲しい。 ・親のことが気になるので、転勤がある人は嫌。できれば県内の人がいい。 ・22～23時まで働いている人は嫌。 ・価値観が合うこと。 ・尊敬できる部分を持っている人。 ・会話の受け答えがしっくりくる人。 ・自分と常識的な範囲が似ている人。 ・向上心を持って頑張る力のある人。 ・男の人にリードして欲しい。

(3) 出会いの環境・行動

交際のきっかけは、合コンや趣味のサークル、アルバイト先、店員と顧客、知人の紹介などがあげられた。未婚者の多くから、職場での出会いは見込まれない、という人がみられた。仕事と家の往復で、積極的に合コンに出かけるなどしない限り、出会いの機会は少ない。また、富山は狭く、知人経由の出会いには限りがあると感じている人も複数みられた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚に誘われた合コンで知り合った。当時は週1回くらい合コンに行っていた。 ・県外の大学から富山に戻ってきて作ったバスケのチームに、友達が連れてきた女性だった。 ・職場、前の会社で知り合った。バイクの趣味が一緒。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合コンで出会った。出会いのない職場だったので、地元（県外）の合同見合いにもよく行っていた。 ・短大時代、バイト先で知り合った。 ・よく通っていた居酒屋の主人の紹介。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で探そうとは絶対思わない。なかなか目立った行動もとれない。 ・普通に生活していると出会いはない。仕事と家の往復。 ・富山は出会いが狭すぎるし機会がない。合コンでも、同じ人に会う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイト先で知り合った。 ・今の彼は趣味のつながり。よく行くショップで出会った。 ・今の彼は、友人の知り合い。 ・東京で、趣味つながりのオフ会で知り合った。富山での出会いは難しそう。若者が少ない。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回くらい合コンに行っている。5回に1回くらいアプローチをかけるが上手くいかない。 ・合コンやバーベキューなど機会はある。 ・社内に独身女性はいるが、自分から話しかけられない。 ・昔は町内や知り合いから情報が入ってきたようだが、今は個人的なことを話すことがあまりない。 ・職場での出会いは厳しい。若い女性があまりいない。自分から求めないと出会いはない。付き合っている彼女とは半公的な出会いの場に参加して出会った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家と職場の往復で出会いがない。 ・友達の友達だともうネタが尽きた。一巡した感じ。 ・出会いがないので、主に年上の人に紹介をお願いしている。 ・自然に出会えると思っていたが自分から探さないと出会いはない。 ・県主催の合コンにも行っている ・最近は職場の上司もセクハラ疑惑がかけられるから紹介しづらい様子。

(4) 未婚の理由（未婚者のみ）

未婚の理由として、20代は雇用形態を含め、経済的不安定をあげ、30代は、結婚したいと思える人との出会いがなく、自分の時間を楽しんでいる人が多い。

また、「自分の魅力に自信がない」「自分から異性を誘えない」という発言も複数聞かれた。

全体的に、結婚について親から強く言われることが少なく、未婚化を後押ししているのではないかと考えられる。

区分		男性	女性
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的にもゆとりがないと結婚はできないと思う。非正規では難しい。 ・ 収入が今の 1.5 倍くらいになれば、やっていけると思う。 ・ 独身の 30 代でも遊んでいる先輩がいるし、まだいいかなと思う。 ・ 結婚してしまうと遊べなくなるイメージが強い。自由時間がなくなる。 ・ 結婚のメリットがわかりにくい。周囲に、浮気、別居、離婚が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は私も彼も低収入だが、将来的に安定したら暮らしていけると思う。 ・ 自分がやりたい事を先にやりたい。 ・ 彼はいるが、価値観がずれているので、別の人を見つけたほうがよい。 ・ 若くして結婚して、金銭的な苦勞をしたくない。 ・ 親から結婚を強く言われることはない。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚まで考えたことがない。いいなと思える人と巡り合えていない。 ・ 自分のライフスタイルを変えてまで結婚は考えにくい。 ・ 若いときに一度結婚が駄目になってから考えていない。 ・ 自分から話しかけられない。 ・ 同居している親も気を遣って結婚について言わなくなった。 ・ 親が「どうしても結婚してくれ」と言えば考えるかもしれない。結婚に対して前向きでもない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちゃんと結婚したいと思う人に出会っていない。 ・ 結婚を前提として3年付き合った人がいたが、価値観が合わず別れてしまった。 ・ 婚活中。いい人がいたらすぐ結婚したい。 ・ 30 歳を過ぎたら焦りがなくなった。 ・ 自分で社会人サークルを作って趣味の時間が楽しくなった。 ・ 自分に魅力がないからと暗くなってしまうので、あまり考えないようにしている。

(5) 異性交際に対する不安（未婚者のみ）

全体的に、恋愛に対して消極的であることと、異性と付き合うための自信不足がうかがえた。

男性は、積極的に女性に声をかけていないようだ。

女性は、合コンでの成功体験が少ないためかあまり興味がなく、合コンで自信を無くすという意見も聞かれた。婚活パーティーに積極的に参加している30代女性からは、男性の反応が薄く、交際への発展はおろか会話が成り立たないという不満があげられた。

区分		男性	女性
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の子はノリが良くない。女の子が夜出するのに不便なのかなと思う。 ・合コンに行っても、アドレス交換しないまま終わりというのが半分以上。 ・自分は草食系だと思う。彼女がいない状況に慣れてしまった。 ・転職がある仕事なので、「転職あるけどいい？」と聞きづらい。 ・正社員でないので、収入が厳しく女の子を誘いづらい。 ・アプローチする時は不安。武器はない。相手がどう思っているかわからないし、振られたらショック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かと出会うためにどこかに行くことに興味がない。合コンには興味がない。 ・合コンに行っただけはいいが、非効率。いい人がいた試しがない。 ・富山に出会いの場があるのか疑問。東京と同じ方法で人脈を広げていけるか不安。 ・趣味の関係で人間関係を広げていくのが出会いの場。 ・紹介で知り合うのは、間の人顔を立てないといけない。 ・男性と話す機会があまりなく、何を話してよいかわからず、相手がつまらなくなると不安。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活の中で、何とかなるだろうと漠然と思っている。 ・前の恋愛を引きずっているの、今は仕事でいいやと思っている。 ・性格上弱気なので自分からはいけない。 ・大体フラれるので自分に難があると思っているが、自分を変えられない。 ・社内に独身女性はいるが、自分から話しかけられない。好きになったら、まず身辺を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活パーティーに行っても、会話が広がらない男性が多い。 ・男性の反応が薄くなっている。喋らない。せめてニコニコするとか。一緒にいるだけで辛い。 ・合コンに行ってもダメであれば、自分に自信が無くなっていく。 ・合コンに行っても、他の人がチャホヤされるだけなので行かなくなった。 ・親戚づたいのお見合いは友達の紹介よりも断りにくい。

(6) 結婚生活を送っていく上での不安

結婚に対して、経済的な不安に加えて、同居やお互いの家の考え方の違いに対する不安があげられた。未婚男女は自分中心の生活を変え相手に歩みよらなければならないことへの煩わしさを感じている。未婚男性は「周囲の既婚者が疲れている」、女性は「本家の嫁としてやっていけるか」「夫の家族と仲良くしているか」という不安が多くあげられた。男女とも、相手の家族との同居を嫌がる傾向がある。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・親同士の仕事に対する考え方が違って結婚が1年延びた。 ・妻は社交的でないので、友達が来たらもっと愛想よくして欲しい。 ・妻が再婚で子どもがいた。子どもたちが自分を受け入れてくれるのか不安だった。 ・妻が専業主婦になりたいと言ったら自分の稼ぎだけで養っていけるか不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり貯金がなかったので、妊娠して仕事を辞めたが、買物を我慢しないといけないのは嫌だった。 ・夫が本家の長男。正月は料理をしないといけないし、祭りもすごい。嫁ぎ先で初めて獅子舞を見た。 ・夫の家族と合うかどうか。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・収入がそれなりにないと結婚には踏み切れない。 ・子どもができたときの金銭面の不安がある。 ・共働きでも、相手よりも自分の収入が多い方が優しく接することができると思う。 ・周りに離婚が多いので、不安。 ・独身の時と同じように男友達と遊べなくなるかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若くして結婚した人達は金銭的に苦しそうにしている。 ・貧乏にはなりたくない。 ・相手の親との同居は嫌。 ・育った環境が違う人とはうまくいかない。 ・年を取ってから出会うとお互いの生活習慣などのすり合わせが必要かも。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の家族との同居は嫌。 ・周りの既婚者に疲れている人しかいない。愚痴を聞かされると嫌になる。 ・長年住んでいるので、富山は離れたくない。 ・一人暮らしの今は時間的にも金銭的にも自分中心で楽。家族中心になるのが息苦しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の親との同居は嫌。 ・前に付き合っていた人が転職になった。転々とする不安があった。 ・夜、仕事で22～23時になる人だと不安。育児ノイローゼになりそう。 ・夫婦が仲良くやっていけるかは心配。 ・妹と二人姉妹。親が婿をもらえと言い出し少しもめている。

(7) 結婚支援

出会いの場を提供するという点で、公的支援事業は概ね賛成されている。県主催に限らず、婚活イベント参加経験者のイベントに対する評価は高い。ただし、参加している男性が消極的である点への指摘が懸念事項である。婚活を前面に出すのではなく、気軽に参加できる趣味のイベントに対する期待が高い。告知が十分でなく、もっと知らせたいという声も多く聞かれた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・出会いの場ができるならいいと思う。 ・どんどんやったらいい。民間のものは入会金が何十万円もするので、公的に支援するほうがよい。 ・会社の後輩は、彼女を作る段階でダメ。恥ずかしくてしゃべれないというので、もっと頑張れと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出身県の合同見合は、すごく楽しかったのでいいと思う。 ・食べ歩きやマラソンなど共通の趣味が楽しめるようなイベントがあるといいと思う。 ・パッと目につくところで宣伝したほうがいいと思う。 ・公的なものは安心。 ・何を話そうか、どんな服で行ったらいいか、わからないと踏み出せない。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社主催のテーマパークに行くツアーに参加したことがある。先輩は結婚につながった。 ・「結婚」「お見合い」だと引くので、「新酒を楽しむ」「大人の遠足」などにして敷居を低くして欲しい。 ・独身限定ではなく、ただ遊びに行くという感覚なら気軽。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚講座(交際術、ファッション、マナーなど)は、男性が行くべき。 ・趣味のイベントをみんなでやるみたいなのがいい。 ・もっと告知したほうがいい。 ・申込書が面倒そう。 ・結婚に金銭的補助があるといい。 ・県や市だと安心感がある。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・民間より信頼性がある。 ・出会いの場の創出はよい。既婚者の体験を聞くのも面白い。興味はあるが、行動に移せない。 ・誘われたら行くが自分からは行かない。 ・個人的なことに自治体が口出しするのはどうか。自治体がやることではないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催だと詐欺はないので安心。 ・県主催のものに行ったことがある。婚活に行っても、女性の方が生き生きしている。 ・結婚相手を探すことだけにこだわったイベントでなくてもいい。 ・もっと軽いイベントのほうがいい。 ・民間のイメージアップ講座のようなものを実施し、男性には服装のアドバイスをしてほしい。

(8) 子どもを持つことに対する意識

親や近隣の助けがある人は子育て環境が良好である。既婚女性の出産への躊躇要因として、経済的な負担増や育休による仕事の中断、育休を取りにくい職場環境があげられた。未婚女性は、体力的に出産だけでなく、出産後の育児を考えて30代までの出産を望んでいる。収入を安定させてから産みたい、という人もみられた。未婚男性は、子どもが成人したときの自分の年齢を考え30歳前後で子どもが欲しいという意見もあったが、そもそも子どもを持つことに対して消極的な人もいた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・親が近くにいるので、子育てを手伝ってくれるのは便利。 ・近所のコミュニティがよくて近隣の家族同士の仲がよい。 ・2人で十分。妻が働く場合、子どもを優先すると職場の人とうまくいかない。富山は特にそう。大手を振って育休を取れない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう1人欲しい。産休があるのはいいが、経済的負担増を考えると躊躇。 ・子どもは3人欲しい。 ・2人目が欲しいが、職場復帰のタイミングが難しい。長く休むと復帰しても今後職場に残れないのではと不安。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が50歳くらいのときに子どもが就職しても、自分が支えてあげられるように27～28歳で子どもが欲しい。 ・自分の子どもの授業参観で、自分がおじいちゃんみたいだったら嫌。 ・社会人として、結婚したら子どもを育て、子孫を残さないといけないという強迫観念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は続け、夫婦で収入を安定させて30代で1～2人くらい欲しい。 ・今の医学なら40歳でも産めると思うが、育てるのに体力があると聞いているから30歳くらいで産みたい。 ・子どもがいてもいなくても、人生を謳歌できればいい。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもができたことを考えると、子どもが20歳になるときに自分が60代にはなっていない。 ・どうしても子どもが欲しいという感じではない。一応30代のうちに普通に欲しい。 ・子どもは苦手なので、あまり欲しくない。 ・子どもは2人くらい欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の発達で高齢出産でも安全だというのが、女性が変わったわけではないので、早く出産したい。 ・体力的なことでも30代前半に産めたらいい。 ・家庭への憧れがあり早く子どもを産みたい。 ・子どもは欲しいが授かるかどうか、健康な子が生まれるか不安はある。

(9) 出産・育児に関する公的支援への考え・要望

仕事と育児の両立支援策を期待する声が多い。未婚既婚問わず、女性からは子どもを預ける場の増設や時間延長があげられた。既婚男性から、妻が働いている場合は、仕事と子育ての両立への苦労がうかがえ、産休を取りやすい環境、保育時間の延長が望まれている。30代の未婚男性は、具体的な支援策まではイメージできない様子だった。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月10万円もらえれば3人目を作ると思う。経済的支援は大きい。 ・富山をモデル県にして、子どもを3人以上産みやすい環境を作ると人口が増えると思う。 ・周りで不妊に悩む人が多いので、支援があるといい。 ・20時くらいまで預かってもらえたら女性が働きながら子育てをしやすくなると思う。 ・子どもの都合を優先できる、能力を評価してもらえるような会社や上司がいれば、女性は気持ちよく働けるはず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が休みづらいのが一番の負担。産休をとりやすいように企業をサポートして欲しい。 ・4月からの勤め先（パート・看護）には産休がないので、二人目は考えていない。パートにも産休が欲しい。 ・子どもが病気になったときに預かってくれるところが欲しい。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭面の不安がある。子どもにどのくらいお金がかかるのかわからないので、知らせて欲しい。 ・共働きの場合、子どもの面倒は誰がみるのか？保育所はあったほうがいい。 ・預ける子どもが増えたら保育料が安くなっていくといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚しても仕事は辞めない。出産して仕事に復帰する人を見ていると自分も働き続けたい。
	30代	(発言なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児のケアにかかる母親の負担を減らすために子どもの預け場所や時間延長などの受け皿を大きくしてもらえると第2子、第3子へつながると思う。 ・保育所の時間延長などが第2子、第3子へとつながると思う。 ・女性が子どもを産まない一因は職場に戻れないこと。それがなければもっと産むのではないか。